

FELLOWSHIP WITH FOREIGN FRIENDS
THROUGH INTERNATIONAL SERVICE

1997-’98年度 国際-列-第2660地区-タ-アト

海外研修報告書

「近くて近くなった国、韓国」



於：韓国 ソウル
1997年10月17日～20日

1997-’98年度 国際ロータリー第2660地区ローターアクト海外研修報告書

近くて近くなった国、韓国

FELLOWSHIP WITH FOREIGN FRIENDS THROUGH INTERNATIONAL SERVICE

CONTENTS

グラビア

- 2 思い出…
韓国が詰まった写真アルバム**

ごあいさつ

- 9 地区代表 山本浩が語る
地区海外研修にかける思い**

1. 行程編

- 10 短かった四日間…
韓国での行動を一挙公開**

2. オリエンテーション編

- 18 韓国人と交流を深めるその前に
韓国と日本のこと学びませう**

3. アンケート編

- 22 韓日交流を終えたあとに
海外研修アンケート集計結果**

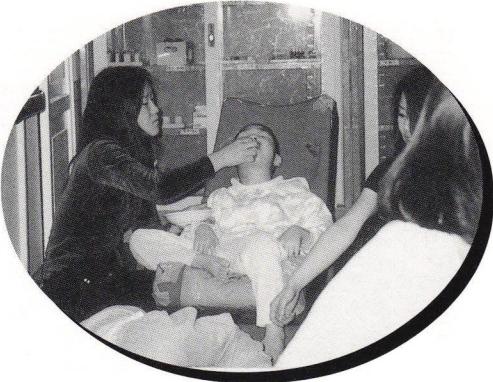
4. メンバー編

- 26 いろんな人がおりました…
海外研修参加者紹介**

5. データ編

- 38 海外研修の全てを公開します。
海外研修会計報告 etc…**

海外研修グラビア



児童福祉施設にて

利川（インチョン）窯元



景福宮での全体写真



施設の園長先生とモテモテ男



韓日大合唱



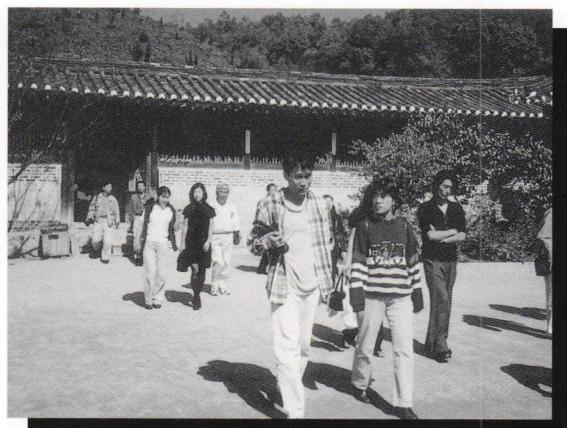
オリンピックスタジアムにて



児童福祉施設の子とお散歩



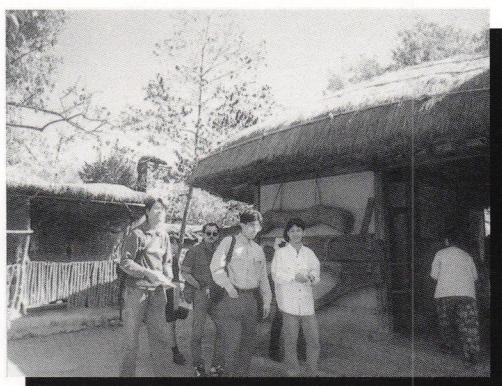
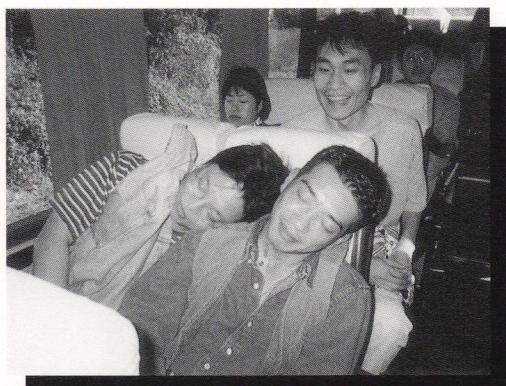
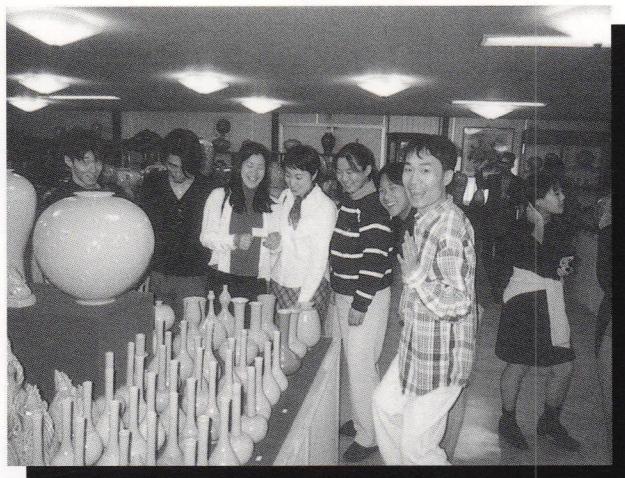
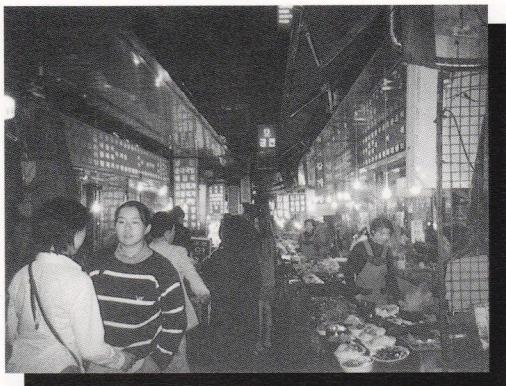
大人気の着物姿…



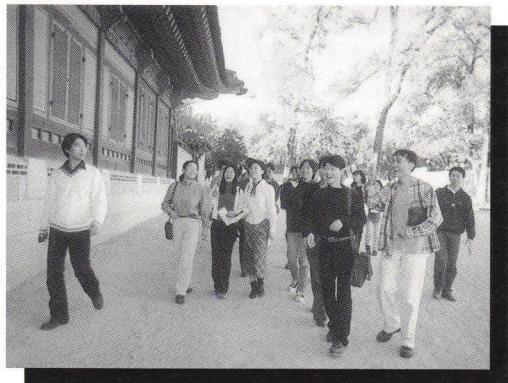
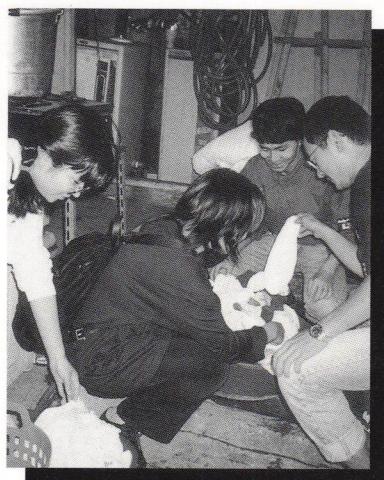
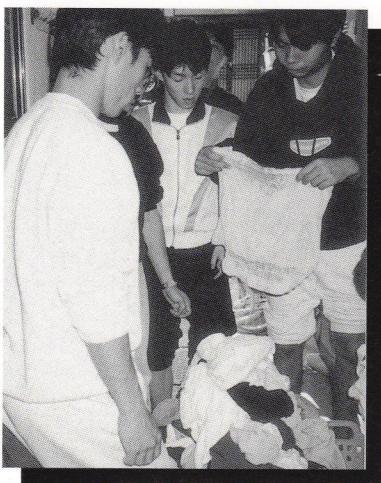
韓国民族村にて

海外研修グラビア





海外研修グラビア

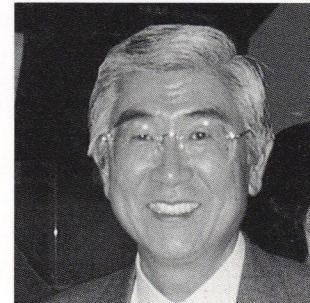




ごあいさつ

1997-98 年度国際ロータリー第 2660 地区
ローターアクト委員長

小 西 真 明



本年度のローターアクト地区海外研修は、約 10 年ぶりに第 3650 地区（韓国・ソウル）を訪問しました。今回は近いこともあって、地区ロータリアン 4 名、ローターアクター 36 名、計 40 名という大勢の参加者でした。

韓国という国は、地理的にも文化や習慣などにおいても日本と近い国ですが、なかなかお互いの国を理解できないでいます。そのため事前に 3 回のオリエンテーションを行い、ハングルの読み書きや歴史、文化、習慣、地理などを十分に研究、勉強しました。このオリエンテーションに出席しているアクターの真剣なまなざしを見て、この旅行がただの観光旅行ではなく、研修であるということを、一人一人がよく理解してくれていると感じました。

1 日目にソウルの金浦空港に到着した時、さっそく現地アクターが出迎えに来てくれ、歓迎を受けました。そして、この 3 泊 4 日の研修の間、十分にお互いの交流を図り、友情を温めることができたと思っています。3 日目には、3650 地区のイムガバナーをはじめ、代表幹事、R A C 委員長がおいでくださり、現地アクター 30 名とともに盛大な歓迎会を催して下さいました。その席でイムガバナーは、「近くで遠い韓国と日本が、本当に近くで近い国になるのは、このように、若者が積極的に交流することから始まる」と、あいさつされました。余興では「上を向いて歩こう」を、私たちがハングルで、韓国側が日本語で大合唱し、心を 1 つにすることができました。その歌声を聞いている時に、胸が熱くなるのを感じました。今回参加した 2660 地区のアクターが、イムガバナーのおっしゃった言葉の意味をよく理解し、これから「近くで近い国」をめざしてくれることを願っています。国や言葉は違っても、同じローターアクターとして心が通い合えることを実感できたこの研修旅行は、若い彼らの大きなプラスになったことと信じています。

最後になりましたが、この海外研修のために準備を進めて下さった方、そして第 3650 地区の皆さんに、心より厚くお礼申し上げます。

1997-98 年度国際ロータリー第 2660 地区
ローターアクト代表

山 本 浩



1997～'98 年度の地区海外研修は、お隣の国韓国へ 3 泊 4 日で行って参りました。ご存じの通り、海外研修は、ローターアクトクラブの国際奉仕活動の一つとして、現地アクターとの相互理解や交流を深めるとともに、また、現地での奉仕活動を行うことを目的として毎年行われている当地区的恒例行事です。

近年はシンガポール、香港、台湾が目的地であることが多く、韓国への訪問は約 10 年ぶりとなります。行き先を決めるに当たっては、地区役員会で様々な議論がありましたが、最終的に韓国に決定した理由は、大きく二つあります。

一つは、最近訪問していない国を訪問して、新しい交流の輪を広げようということです。もう一つは、たくさんの悲しい歴史を抱え、「近くて遠い国」といわれて久しい韓国の人たちと、心の交流をすることが、今まさに私たちの世代に求められていると考えたからです。

交流会では、現地 R A C メンバーの熱い歓迎を受け、最後には「上を向いて歩こう」を大合唱し、本当に楽しい時間を過ごしました。「近くて近い」韓国になって帰って来れたのではないかと思います。

この報告書は、今回の研修における私たちの活動の成果と思い出の結晶です。どうかじっくりとお読みいただき、ローターアクト海外研修の今後のますますの発展にお役立ていただければ幸いです。

§ 1. 行程編

§ 1. 行程編

1 – 1. 行程表

1日目 10月17日（金）	17:40 関西空港集合 18:00 結団式 19:40 関西空港出発（UA 817便） 21:20 ソウル・金浦空港到着 23:00 豊田（プンジョン）ホテル到着 【豊田（プンジョン）ホテル泊】
2日目 10月18日（土）	9:00 ホテルにて朝食（バイキング） 午前 ホテル集合 ソウル近郊観光 利川（インチョン）窯元 韓国民族村 13:00 市内レストランにて昼食（石鍋ビビンバブ） 午後 オリンピック公園 景福宮・民族博物館 18:00 市内レストランにて夕食（骨付きカルビ） 20:00 各班で自由行動 【豊田（プンジョン）ホテル泊】
3日目 10月19日（日）	9:00 ホテルにて朝食（バイキング） 各班で自由行動 各班で昼食 13:30 ホテル集合 15:00 ソウルR A Cとの共同奉仕活動 19:00 R. I. 3650地区との交流会（韓国焼き肉） 21:00 各班で自由行動 【豊田（プンジョン）ホテル泊】
4日目 10月20日（月）	9:00 ホテルにて朝食（バイキング） 各班で自由行動 11:30 ホテル集合 12:30 金浦空港到着 空港内にて各班で昼食 14:30 金浦空港出発（UA 818便） 18:00 関西空港到着 18:30 解散



● 1日目 【10月17日(金)】

17時40分、関西空港ロビーに集合。空港内会議室で結団式の後、いよいよ出発となりました。今年はビザ不要ということもあり、全員無事国外脱出に成功しました。

ソウル・金浦空港では、夜も10時を回っていたのに、ソウルRACのメンバー3名がお出迎えをしてくれていました。時間が無くて、ほとんど口もきけなかったのは残念でしたが…

ホテル到着後、速やかにコンビニでウォンの使い初めをした人もいたようですよ。

● 2日目 【10月18日(土)】

丸1日かけ、全員そろって観光バスでソウル近郊観光。ホテルからバスで1時間ほど利川では、韓国の伝統工芸・青磁の窯元を見学、続いて韓国人の伝統的な衣食住を実物展示する韓国民族村を見学しました。

お楽しみその1は石焼きピンパンの昼食。本体よりも、最後に残った鍋の底のオコゲの方が気に入ってしまった？

午後は1988年に華々しく開催され、韓国躍進のきっかけとなつたソウルオリンピックスタジアム、続いて李王朝時代の宮殿・景福宮と、これに隣接する民族博物館を見学。

お楽しみその2の夕食は、名物・骨付きカルビ。めちゃくちゃ美味しいくて、お肉40人前を追加注文してしまいました。それもそのはず、実は現地でもとても有名なお店らしく、韓国出身の皆さんも、感激していました。

夕食後は班別自由行動となり、南大門市場や明洞などで、夜のソウルを満喫しました。

→市内観光の詳細は、12ページ参照。

● 3日目 【10月19日(日)】

午前中は班別自由行動。午後からは、ソウル市内の私立児童福祉施設で、ソウルRACの皆さんとの共同奉仕活動を行いました。体の不自由な子供たちに、おやつをあげたり一緒に遊んだり、散歩に出かけたりしました。

夜はいよいよ3650地区のアクター達との交流会。焼肉あり、お酒あり、歌あり、友情ありで、みんなごきげんでした。その後の自由行動時間で、さらに親睦を深めた人も多かったようです。
→共同奉仕活動の詳細は、13ページ参照。

→交流会の詳細は、14ページ参照。



● 4日目 【10月20日(日)】

ぎゅうぎゅうのハードスケジュールも早くも終わり。お昼前にホテルを出て、金浦空港で最後の昼食とお買い物。あとは帰つて寝るだけ、と思いつや、なんと飛行機がエンジントラブルで2時間離陸せず。最後までお疲れ様の4日間でした。ようやく着いた関空では、1000円のルイヴィトンも無事税関を通過し、外国人風の色男(紺谷君、小田君ごめん)のお出迎えを受けたのでした。全員元気で帰れてよかったです！



1-2. ソウル近郊観光

●利川(インチョン)窯元

最初に訪れた利川(インチョン)窯元では、韓国伝統の器である青磁の製造過程を、型作りから絵付け、上塗り、焼き上げまで、実地見学しました。この道50年！といった感じの職人おじさんが、流暢な、ハングル交じりの日本語で説明して下さいました。おじさんの話では、日本を代表する「伊万里焼」などの焼き物の技術は、すべて韓国から伝わったものだが、日本の土は韓国ほどきめ細かくなく、青磁のような美しい色合いは決して出せないとということでした。職人さんの韓国文化に対する誇りの一端を感じさせるお話しでした。

●韓国民族村

屋外の広い敷地に、昔の家屋や農器具など、韓国の伝統的な生活習慣に関する品々を実物展示了韓国民族村。木造家屋にワラ葺屋根、軒先には干し柿のような果実がぶら下がり、日本人にとっても懐かしさがこみあげてくる風景でした。日本文化のルーツが朝鮮半島であることを実感させる施設でした。

●オリンピック・スタジアム

名古屋との招致争いの末、ソウルオリンピック開催が決定したのは1983年。当時の韓国は

軍事政権で、夜間外出禁止、言論統制など、戦時体制が続いていたのです。無事開催を危ぶむ声も聞かれましたが、1988年、大成功のうちに幕を閉じました。韓国人に自信と希望を与えたこのオリンピック成功をきっかけに、政治の民主化、経済の発展が急速に進み、国際社会での地位向上と先進国との仲間入りを果たしたのです。10万人収容、韓国近代化の象徴であるこの巨大スタジアムでは、折しも韓国版ジャニーズ系アイドルのコンサートに多くの女子校生が集まっており、単なる「近代化」から次代の「豊かさ」へとステップアップする韓国の勢いを感じました。

●景福宮・民族博物館

景福宮は、朝鮮半島が栄華を誇った李朝時代の王宮です。巨大な瓦屋根の宮殿が立ち並ぶ姿は、奈良・東大寺をさらに大きくしたような感じで、朝鮮半島のかつての繁栄を今に伝えています。柱や壁は原色で彩られ、日本の寺社仏閣よりはやや派手な感じとなっています。ここで結婚式の記念撮影するのが大流行のようで、ウェディングドレスやチマチョゴリ姿の若いカップルが、さかんにポーズをとっていました。

隣接する民族博物館では、同時代の装飾品や武具のほか、歴史関係の資料展示も豊富で、豊臣秀吉の朝鮮出兵を「倭乱」という侵略行為と紹介されており、日韓の歴史観の違いの一端を見た思いでした。

●参加者アンケートから（ソウル近郊観光について）

- ・各所での滞在時間が短すぎて、満喫できなかった。もっとゆっくり回りました。
- ・住宅街など、生活感のある所にも行きました。
- ・歴史をもっと知っていたらおもしろいだろうと思った。
- ・韓国理解や、現地アクターとの話題作りのために大変役に立った。
- ・現地R A Cの方々と一緒に観光できればもっと良いのでは？
- ・ガイドの説明が分かり易く、個人旅行では行けない所にも行けたのが良かった



1-3. 共同奉仕活動

3日目の午後は、私立の児童福祉施設で、現地3650地区R A Cの皆さんと共同奉仕活動を行いました。ここは、身体が不自由で身寄りの無い小学校低学年ぐらいの子供たちが生活している施設で、10人あまりの子供たちがいました。現地R A Cの皆さんには、毎週木曜日の夕方にここで手伝いをされているそうです。

「児童福祉施設」というと聞こえはいいのですが、建物は築20年は経っている民家で、10畳ぐらいの狭いスペースに身を寄せ合うように生活されていて、残念ながら良い生活環境とはとても言い難いものでした。ただ、施設の世話役の女性が恰好良く威勢のいいお姉ちゃんで、そのあけっぴろげな元気さには救われる思いでした。

訪れた私たちは、子供たちにおやつをあげたり、部屋の掃除や洗濯を手伝ったり、散歩に連れて行ったりしてコミュニケーションを図りました。しかし、わずか2時間ではできることは限られており、しかも私たち約40人に対して現地R A C

の方と子供たちは約10名ずつでは、人手が余るのは当然で、不本意ながらほとんど何も手伝えなかったメンバーが出てしまったのは残念でした。準備もせず、にわか仕込みの「奉仕活動」は、自己満足以外の何物でもないような気がします。これは海外研修に限らず、私たちの普段の活動においても言えることではないでしょうか。



●参加者アンケートから（共同奉仕活動について）

- ・人数が多くて、有効な人員の使い方ができなかった。もう少し時間が欲しかった。
- ・中途半端なことしか出来なかつたので、後でむなしさが残った。
- ・嵐のようにやってきて、嵐のように去って行く。とても淋しい思いがします。
- ・言葉は通じないし、何をしていいのか分からぬ。無理がある。
- ・事前に活動内容が分かっていればなお良かった。
- ・大変良い経験だったが、受入側の施設がどう思っていたかを考えると、少し疑問が残る。
- ・本当に喜ばれていたのか、疑問。事前打ち合わせ不足。
- ・ソウルのアクターは、奉仕活動に熱心だ（毎週活動）。日本での活動に役立てたい。
- ・施設が貧しかったのが印象的。多くの事を考えさせられた。
- ・子供の顔が、だんだんスマイルになってきたのが嬉しかった。
- ・従来に比べて、活動そのものが「人に対する」「生活に根ざした」活動で、良かった。

§ 1. 行程編



1-4. 3650 地区との交流会

● 総勢 80 名の大宴会

3日目の夜は、いよいよ今回の研修のメインイベント、R I 3650 地区 R A C の皆さんとの交流会です。プルゴギ(韓国焼肉)を囲んでの宴席は、すべて現地 R A C の方が手配して下さいました。現地 R A C の方々は学生の方が多く、しかも試験期間中だったにもかかわらず、私たちとほぼ同数の方に集まっていたとき、総勢約 80 名の大宴会となりました。

● キムさんカッコイイ！

開会のセレモニーでは、R I 3650 地区ガバナーにもご挨拶を頂戴しました。ガバナーは京都大学のご出身で日本に対しては関心が高く、流暢な日本語を交えて「近くて遠い韓日関係を、ぜひ皆さんの方で近くて近い関係にしてほしい」と、熱く語っていただきました。

開会セレモニーで忘れてはならないのが、我らがキムさんの見事な同時通訳で

す。普段はスットボケているくせに、この日は正装に髪もサッパリ整えて、真剣な表情で 2 国語を操る姿はカッコイイの一言。惚れてしまった女性メンバーも多数いたのでは。約 40 分の長丁場でさすがに頭が混乱したのか、一生懸命日本語を日本語に訳してしまっていたのには思わず一同爆笑してしまいましたが。



● アンケートから (3650 地区との交流会について)

- ・たいへん良かったが、日程上、もっと早くから交流会を出来ればもっと良い。
- ・欲を言えば、彼らと一日行動を共にして(買い物・観光など)、生の文化に触れたかった。
- ・半日ぐらいは全員で過ごせる時間を取り、次の日にも会えるようにした方が良い。
- ・もっと時間が欲しかった。もっと多くの人と交流したかった。
- ・立食形式などにして、もっとたくさんの人とお話をしたかった。
- ・英語でコミュニケーションが取れたが、韓国語で取れたらもっと良かったと思う。
- ・とても楽しかったが、語学力の必要性を痛感した。
- ・もう少し韓国語を勉強しておけばよかった。
- ・ソウルのアクター達は、英語も日本語も上手。
- ・とても友好的で、とても楽しくて、勉強になりました。
- ・大変話が弾み、とても楽しかった。
- ・大変有意義だった。これを機に、現地のアクターと連絡を取りつづけていきたい。



当地区からは小西委員長と山本代表が挨拶し、歓迎へのお礼と、今回の交流会だけにとどまらない長いお付き合いをお願いした後、乾杯となりました。

●もっと勉強しつければ…

最初は皆緊張気味でしたが、そこはさすがにアクター同士、お酒が入るとすぐに打ち解け、交流の輪が広がっていきます。会話はお互いに片言の英語と「気合い」のボディーランゲージを中心でしたが、韓国のメンバーには日本語が話せる人も結構いらっしゃって、韓国人の日本への関心の高さがうかがえました。また、竹島の領土問題や歴史観について質問され、答えに窮した場面もあったようです。私たちのメンバーからは、あらかじめもっと韓国語や日韓関

係について勉強しておけばよかったという声も聞かれました。

●感動の韓日大合唱！

約2時間にわたった宴会のしめくくりとして、出発前オリエンテーションで練習してきた、金さん訳による「上を向いて歩こう」韓国語版（ハヌルル・ポミョ・カジャ）を私たち全員で合唱しました。さらに、日本語の歌詞をハングル文字で書いて現地のメンバーに配り、現地のメンバーが日本語、私たちが韓国語で同時に大合唱。これが大成功し、日韓両国語が見事なハーモニーを奏で、一体感を感じる事ができました。歌が終わると一同拍手喝采、心地よい感動とともに交流会は終了しました。

●参加者アンケートから（3650地区との交流会について）

- ・帰りにタクシーを拾う時に、走り回ってくれてとても有り難かった。
- ・韓国について、より深く知ることが出来た。
- ・自分が韓国について日常感じている疑問について、同世代の人と話せてよかったです。
- ・座敷だったので、身近に話ができ、場所も明るく、良い雰囲気だったと思う。
- ・こんな短時間で親密になれるなんて、R A Cはすごい。
- ・すごく楽しく、盛り上がって良かった。思っていたよりも、仲良く交流できた。
- ・今まで参加した中で、一番アットホームで親しくなりやすいものだった。
- ・キムさんのような方が必須。歌も、皆が参加でき、心が伝わったと思う。良かった。
- ・「上を向いて歩こう」は、韓国の方が大きな声で歌ってくれて良かった。
- ・「上を向いて歩こう」は、たいへん感動的でした。

本日のMBP (Most Bokeboke Player)

1日目・3班 泉 富弓さん(守口R A C)

関空のX線荷物検査で、手荷物をベルトコンベアに載せた後に航空券の提示を求められた泉さん。「あれっ？航空券がない！」。それもそのはず、航空券は荷物の中にあり、すでにX線の照射を受けていたのでした。係員が荷物を戻してくれるまでの約1分間、不法出国容疑で拘留された泉さんでした。

§ 1. 行程編



1-5. 自由行動

● 1班

一班は、班長の許可を得て買い物組と、観光組に別れました。まず買い物組は、明洞のロッテ百貨店に行きました。初め、入り口が分からず、ウロウロしていましたが、とりあえず入ることができました。中は、すごく広く、一日中いても飽きないところでした。それぞれ、お目当ての物に出会えたのではないでしょうか？私は、もちろん出会いました！！（筆者談）

観光組は、金さん通訳のもと、ソウルR A C の皆さんとソウルタワーに行きました。タクシー、ロープウェーと乗り継ぎ、南山公園に到着。ソウルタワーからは、ソウル市内が一望でき、最高の眺めでした。その後ソウル市内に戻り、名物の冷麺を食べに行きました。が、食べ終わったあと時計を見てびっくり！全員ホテルまでフルダッシュとなりました。結果は、皆さんご存じのとおり…。



● 2班

2班は、まずははじめにロッテデパートへお買い物に行き、免税店でお買い物をしました。その後その周辺を探索していたんですが、薄暗くて開店しているのか閉店中ののかわからないデパートがあり、一同とまどってしましました。結局ジャストルッキング（見てるだけ～）になりました。

そして、ホテルに到着するまで徒歩でぶらぶらしていたんですが、間違った日本語が何回か目に

とまりました。例えば、日式のレストランに入ったときには、メニューにハングル語の他に日本語の仮名でも書いてあったんですが、韓国の一一番身近な食べ物のキムチがキムサになっており、不思議な感じがしてしまいました。とにもかくにも韓国のいろんな面を見ることのできた自由行動となりました。



● 3班

3班の自由行動は、「歩け歩け」のチカラ技。南大門市場、ミョンドン、イテウォン、戦争博物館と、訪問地の数では一番でしょう。最大のピンチは、3日目の夜。地下鉄の切符の買ひ方がわからず、親切なジモティに教えて頂いたんですが、これがとんでもない酔っ払いストーカーで、「一緒に遊ぼう」と地下鉄車内まで付け回され、振り切るのに苦労しました。諷訪君なんか頬をつねられて、ブチ切れ寸前。よく我慢して、韓日の友好を守ってくれた。

ミョンドン、イテウォンは華やかなショッピング街、南大門市場の近くではスラム化した地下街に迷い込んで韓国社会の「陰」の部分を垣間見たり、戦争記念博物館で歴史の重みをズッシリ感じたりと、実にバラエティーに富んだ、「足で稼いだ」自由行動でした。

● 4班

私たち4班は、グループ全員で明洞（ミョンドン）へ繰り出しました。ロッテ百貨店などで買い物をした後、韓国の名物料理サムゲタンの昼食をとりました。午後にはさらに買い物を続行いろいろと歩き回ったんですが、そこで山野さんの地区会計パワーが爆発。あらかじめお小遣いの額をはっきり決めて買い物に臨んでられたんですが、きっちりとその範囲を守ってどんどん買い物を進めるその姿は鬼気迫る物がありました。

いろいろと見て回ることができて、メンバー全員とても楽しくさわやかな気持ちになれた一日でした。



● 5班

私たちの班はイテウォンお買物ツアーロードを敢行しました。ナイキショップでは靴やウェアを思い切り買いまくり、（約1名締まり屋みずほは除く）パチモンショップ（？）でも大阪人パワーを發揮した大輔さんが値切りまくるなどとても楽しい買い物でした。またこの値切り合いをしたお兄さんと仲良くなり、サムゲタンと冷麺のおいしい店を教えてもらうなど現地の人との交流も楽しみました。しかし、帰りになかなかタクシーが捕まらず遅れてしまい、日本との違いをこんなところに感じました。

§ 2. オリエンテーション編

§ 2. オリエンテーション 編

2 - 1. 日程表

	第1回(8月24日)	第2回(9月21日)	第3回(10月5日)
13:00	15 開会式 ・ご挨拶（岩津副委員長） ・趣旨説明（山本代表）	15 諸事連絡（地区役員）	15 諸事連絡（地区役員）
	30 参加者自己紹介	30 諸事連絡 (トップパントラベル・林さん)	20 諸事連絡 (トップパントラベル・林さん)
	40 行程説明他 (トップパントラベル・林さん)	50 ハングル語講座② ・ハングルのあいさつ文 ・韓作文をしてみよう ・さいごに	40 グループ発表①
	10 諸事連絡 ・書類提出 ・グループ班長選出		00 グループ発表②
	25 休憩		20 グループ発表③
	35 ハングル語講座① ・はじめに ・ハングルはこんなに 勉強し易い ・ハングル文字を覚えましょう		40 グループ発表④
	05 韓国歴史講座 ・韓国歴史概説 ・韓日史概説 ・韓国人の歴史観		00 休憩
	35 休憩		10 グループ発表⑤ ・現地での余興演習
	45 特別講演 「日本からみた韓国」 講師：キム・ビヨンゴン（吹田OB）		
	00 グループ討議① ・発表テーマの決定 ・必要な資料の検討 ・次回までの準備分担		
14:00	30 献血のお話 (大阪赤十字血液センター)	30 献血のお話 (大阪赤十字血液センター)	10 休憩
	40 諸事連絡	40 諸事連絡	20 諸事連絡（地区役員）
	45 終了	45 終了	35 終了



2-2. 研修内容

韓国訪問に先立ち、合計3回、10時間余りにわたって行われたオリエンテーション。日本赤十字社大阪府支部のご厚意により、大阪赤十字血液センター会議室をお借りすることができました。

ハングル講座、韓国歴史講座、キムさんの特別講演のほか、参加者全員が班別にテーマに沿って研究発表をしました。例年より質・量ともにパワーアップし、韓国理解への大きな第一歩とすることことができました。

●ハングル講座

ハングル文字、簡単な文法等、韓国語の勉強を通じて、日本文化の成り立ちについて考察しました。韓国語は、単語・文法等すべてが日本語と非常によく似ています。しかし、歴史の流れを見ると、「韓国語が日本語に似ている」ではなく、「日本語が韓国語に似ている」のがわかります。つまり、私達日本文化の根元をなす日本語は、ほとんどすべて朝鮮からの外来語であると言えます。

現在、私達日本人は、ごく最近の経済的発展のみを根拠として、まるでアジアの大親分のような意識を持っているきらいがありますが、それはたかだかここ数十年だけの話なのです。言語以外にも、芸術・宗教・生活習慣等いろいろな側面を勉強して、アジアのはずれの島国「日本」の文化がどのように形成されたかをもっと知れば、私達のアジア諸国の人々に対する接し方、考え方も変わるものではないでしょうか。

●韓国歴史講座

古代から現代までの朝鮮半島の歴史を、特に近代における韓日史を中心に概観しました。

韓日両国間を「近くで遠い」関係にしている最大の原因が、「歴史」にあるのは誰しも認めるところ。もちろん史実を消すことはできません

が、韓国人が自国の歴史について非常に強く勉強し、誇りを持っているのに対して、日本人はあまりにも無関心といえます。

例えば、最も基本的な話として、日本がかつて韓国を植民地にしていたのは何となく知っているでしょうが、一体何年間支配していたのでしょうか？（答えは、1910-1945の36年間）これは韓国では小学校レベルの常識です。日本人がよく言う「昔のことは水に流して…」という考えも、それはそれで前向きなのですが、その「昔のこと」の内容さえ知らずに言っているのなら、無責任と言われても仕方ないでしょう。

まずは客観的史実を知り、そこをスタートラインとしていろいろな考え方をぶつけ合ってこそ、本当の理解が得られるのではないかでしょうか。

●キム・ビョンゴンさんの特別講演

韓国からの留学生、吹田RAC・OBのキム・ビョンゴンさんが、「日本から見た韓国」をテーマに約15分間のスピーチ。

日本語ペラペラ、今でこそ親日派のキムさんですが、日本語や日本のこと勉強し始めたきっかけは、なんと「日本が嫌いで嫌いで仕方なかったので、どれだけ悪い国かもっと知りたかったから」とか。ところが、日本を知り、日本で生活してみると、逆に祖国・韓国の悪い点や日本の良さも見えてくる。まずはお互いの良い所・悪い所を知ることが、相互理解の第一歩であるというお話をでした。

そういう意味で、今回RACのメンバーが韓国について勉強し、韓国を訪問することが大変うれしいと語っておられました。

キムさんが読破された数多くの本の中から、日本人から見た韓国、韓国人から見た韓国、韓国人から見た日本など、韓日関係をさまざまな角度から捉えた書籍もご紹介いただきました。

§ 2. オリエンテーション編



2 – 3. 班別研究発表

● 1班

私たち1班は「歴史」を担当しました。オリエンテーションの中で日本と韓国の間の歴史的な関係を勉強しましたので、私たちは近・現代の韓日関係、特に日清戦争から第二次世界大戦までを中心に、戦後の歴史も発表しました。

深く知れば知るほど、日本軍の非人道的な行動など知らないことがたくさんあり、韓国人の人たちとの間にある溝の原因が見えてきたように思いました。他の班のみなさんにも、今回の私たちの発表によって、このような気持ちを持ち、韓国への理解を深めてもらえればと思います。



● 2班

2班は「韓国の文化」を担当することになったんですが、1. 食に関するマナー 2. その他のマナー 3. 衣文化について 4. キムチの作り方・試食 という4本立てで発表を行いました。特に食に関するマナーについては、儒教の精神が色濃く反映されたものであり、目上の人への韓国人の人たちの心遣いが強く感じられます。実際に現地ローター・アクターと交流するときに実践し、さらに理解を深めてもらえればと思います。また、キムチは韓国では本当に身近な食べ物です。その作り方を紹介しましたが、是非試してみてください。試食したキムチの味はどうでしたか？

● 3班

3班の担当は、「交流会の出し物」でした。前年度の河内音頭に負けないようにと、何度も時間外に集まって、いろいろ知恵をしぼりました。最終案は、「上を向いて歩こう」の合唱に決定。キム・ビヨンゴンさんにお願いして、歌詞を韓国語に訳してもらいました。オリエンテーションではなかなか上手く歌えなかったのですが、交流会会場へのバスの中で皆の心が一つになり、会場では現地アクターを巻き込んで感動の大合唱となりました。

なお、実際は日の目を見ませんでしたが、盛り下がったときの予備ゲームとして、北川君の力作「韓日ジェスチャー借り物競走」も準備していたのですよ。



● 4班

4班は「政治」を担当しました。まず、韓国の政治の移り変わりについて、戦後の韓国の政治形態と、主な政治上の事件について発表しました。第二次世界大戦の影響で南北に分断されるなど混乱した韓国は、数多くの内政の混乱も経験してきたことを強く感じました。また、憲法の改正についても簡単に勉強しました。

それ以外には、物価について発表しました。タクシーや郵便の料金の比較や、買い物をしたときに課される間接税、韓国のホテルでのチップについて基本的なことを説明をしましたけれども、現地で参加者のみなさんの役に立てばと思います。



● 5班

5班の担当は「経済」でした。まずははじめに現在の韓国の社会について説明しました。都市の様子や、農業から工業へ中心産業が移ってきてること、貿易の仕方、交通網の発達など社会的な様子が本当に日本とそっくりであることが伝わったのではないかと思います。また、韓国では、地域による政治・経済的格差があることが社会的特徴になっています。そこで、韓国全土を地域ごとに区分した地図を作り、それぞれの地域ごとの主な特徴を説明しました。

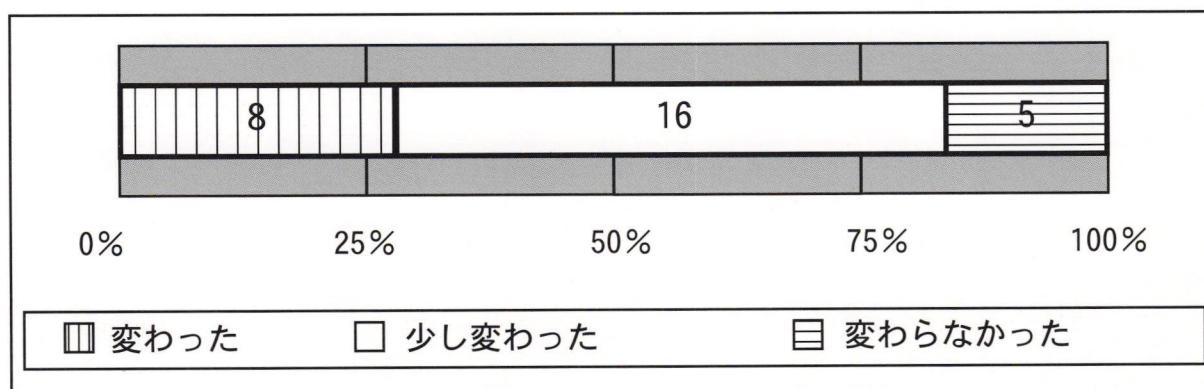


§ 3. アンケート 編

3-1. 近くて近くなった国

帰国機内で記入した「参加者アンケート」の結果です。まずは「参加者の意識変化」から。

質問1：海外研修の前と後では、韓国に対する印象が変わりましたか？



質問2：印象が変わったなら、どこがどう変わったのでしょうか。

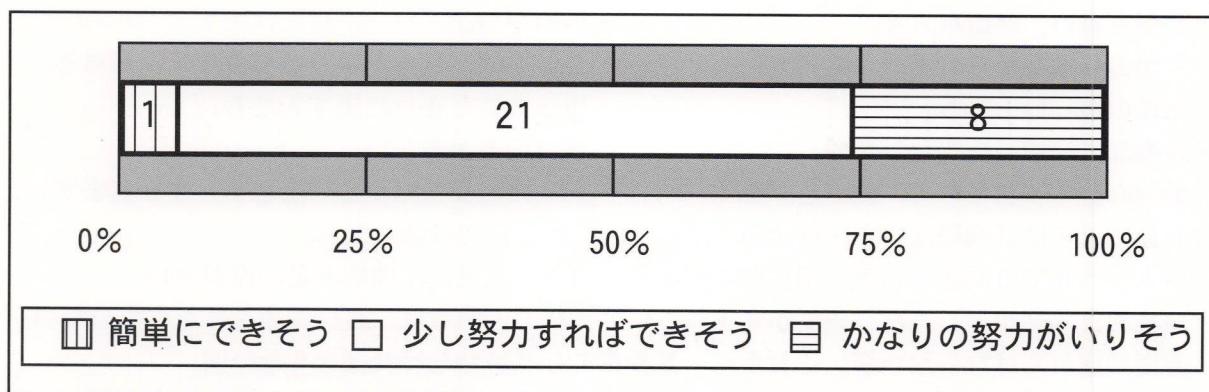
- ・韓国が、こんなに日本と似ているとは思わなかった。
- ・日本とソックリでびっくりした。とても豊かな国であった。
- ・ゆとり（スペース）があって、緑が多く、ちょっと裕福な日本という感じ。
- ・町の様子や物価等、日本と非常に近い感じがした。
- ・とても日本に似ている国だと思ったが、儒教の影響を受けたマナーの良さなどを感じた。
- ・とても快適で、食事がおいしく、まさかこんなに日本人に優しい国とは思わなかった。
- ・今回の研修を通じて、いかに日本が韓国の影響を受けていたのか分かった。
- ・思っていたより貧富の差が激しい国だと感じた。
- ・思っていた以上に車社会だった。・皆、将来の夢をしっかりと持っている。
- ・ますます韓国人が好きになった。・誠実で人柄の良さそうな人ばかりだった。
- ・本当に心の温かいオープンハートな人たちだった。
- ・予想していたよりも、日本の事をよく知っている。
- ・「近くて遠い国」である理由と、日本人が何をすべきかがわかった。
- ・精神的な距離が縮まった。本当に近い国になった。



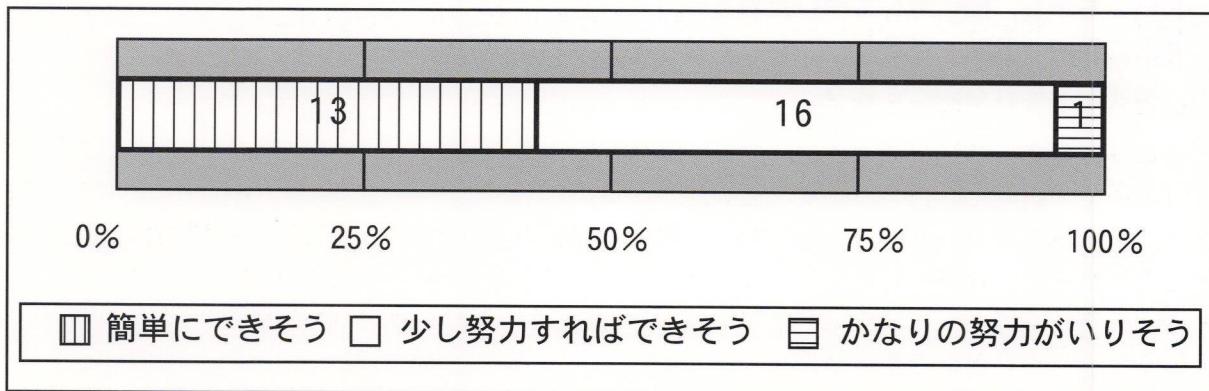
3-2. はい、仲良くできます！

「近くて遠い」と言われている韓日関係。さて、私たちはどこまで親密になれるのか？

質問3：日本と韓国の「国同士」の関係を、心から親密にできると思いますか？

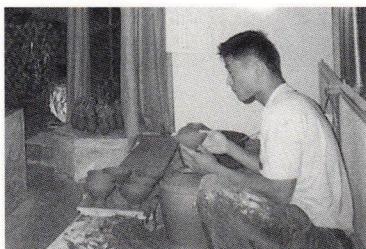


質問4：「あなた自身」は、韓国の人たちと心から仲良くできると思いますか？



「国家レベル」で見ると、まだまだ精神的な距離感を感じる人が多いようですが、「個人レベル」で見ると、その距離感がグッと縮まっている様子がうかがえます。今回の研修の、大きな成果と言えるのではないでしょうか。

§ 3. アンケート編



3－3. 韓国の印象、日本の印象

すばり、韓日両国の印象を聞いてみました。

質問5. あなたは、韓国や韓国人に対して、どんな印象を持っていますか？

- ・心がきれい、熱血な人々。 ·いいやつ。
- ・年配の人は恐そう、若い人は親切。 ·若い人は、日本人よりバイタリティがある。
- ・気性の激しい人たち。 ·思ったことを口に出す人たち。
- ・急激な経済成長を果たした国。 ·貧富の差が激しい。
- ・愛国心があふれていて、独立心がある。 ·いまだに反日派が多いと思う。少し気まずい。
- ・普通に話すには問題ないが、歴史面の話は、とても一言では語れない。
- ・個人レベルでは問題ないが、国家間の関係で見ると、まだまだ理解不足の面が多い。
- ・同世代とは話が通じるが、両親から上ぐらいいの世代の人からは、良い印象を持たれていない。
- ・歴史は忘れてはならないが、これから一番仲良くしていかなければならない国。
- ・昔のことを修復するのはとても難しい。でも仲良くなりたい。
- ・若い人に関しては、徴兵制の有無が、韓日観の決定的な違いをもたらしていると思う。
- ・女性は、化粧が濃すぎる。化粧しない方が美しくてかわいいだろうに。
- ・若いうちから、国に対して深い愛着を持っている。
- ・非常に親切・勤勉・優秀で、フレンドリーな国。日本的心強いパートナー。
- ・一番仲良くなれる国だと思う。



質問 6. 韓国人は、日本や日本人に対してどんな印象を持っていると思いますか？

- ・少なくとも今回会った人は、悪い印象は持っていないと思う。
- ・友好的な態度である。
- ・思ったよりも敵視していないと思う。特に若い人は、悪い印象を持っていない。
- ・若い人は、日本文化に触れたがっている
- ・若い世代は、日本を知ろうと一生懸命勉強している。
- ・若い人们は、多分単にアジアの1つの国、1つの民族として受け止めている様子。
- ・儒教の国だから、心の底では悪い国だと思っているかも。
- ・表面的には友好的。
- ・世代や個人によって、日本に対する印象の差が大きいと思う。
- ・日本に来たり、日本人と接していない人们は、日本を好きでないと感じた。
- ・歴史の悪印象が強く、良い印象は少ないと思う。
- ・年配の人は、少なからず敵対心を持っているだろう。
- ・「許すけど忘れない」という感じ。悔しいけど学ぶところはある、みたいな。
- ・歴史、政治に疎い。韓国についての知識が浅い。
- ・金持ち。ばつたくれる客。

3－4. 海外研修を振り返って

質問 7. その他、海外研修を通じて、感想・意見などがあれば書いて下さい。

- ・同行の写真屋があやしかった。本当に親切なのか、お金目当てなのか？
- ・スケジュールの変更が多すぎたのが残念。事前打ち合わせも不十分だった。
- ・時間にルーズな人が多く、全体に迷惑をかけていたことがあった。
- ・非常に充実していて、3泊4日よりも長く居たような気がする。
- ・やっぱり韓国、キムチは絶対出るのだなあ。とてもおいしかった。
- ・以前の訪問時と比べて、ソウルの街が成熟し、落ち着いているように感じた。
- ・いい気候で天気も良く、気持ち良く過ごせた。
- ・私たちの世代は、歴史的事実を冷静に考えられる。ここから眞の国際交流が始まると思う。

§ 4. メンバー編

今回の海外研修では、総勢40名(うちロータリアン4名)が渡韓しました。この章では、他己紹介形式で、参加メンバーの素顔をご紹介します。

● クラブ別(ゾーン別) 参加人数

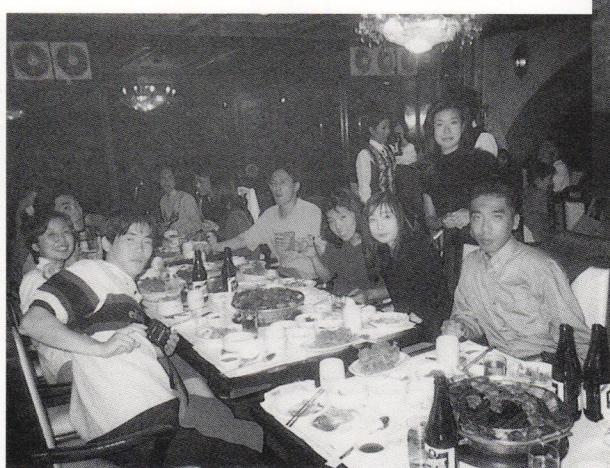
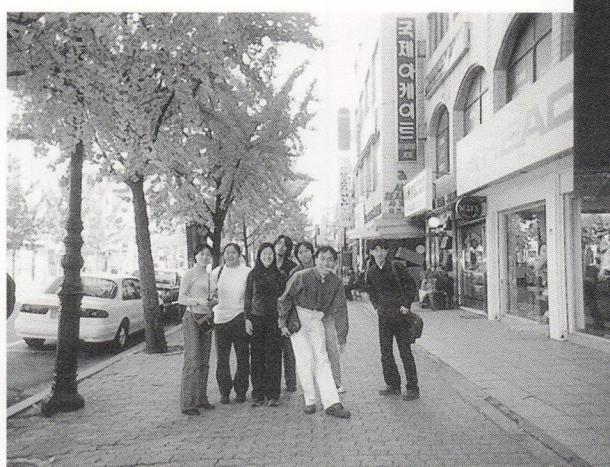
北ゾーン(19)				中ゾーン(8)			南ゾーン(9)		
守口 6	吹田 6	寝屋川 5	空港 2	大阪北 3	淀川 3	大阪 2	住吉 3	西南 2	南 2
平野 1	東東 1								

0 10 20 30 36

● 他己紹介の見方

氏名・クラブ名・班での役割分担・紹介文のほかに、各人の「得意技」と「弱点」を考えて書いていただきました。また、各グループで毎日一人ずつ、「MVP」「MVF」「MBP」の三賞を選出してもらいました。各賞は、右端の欄に下のマークで表示しています。

MVP	<u>MVP (Most Valuable Player)</u> その日、一番活躍をした人です。
	<u>MVF (Most Valuable Follower)</u> 目立たないけれど、さりげなくナイスフォローを入れていた人です。
	<u>MBP (Most Bokeboke Player)</u> ボケボケ度ナンバーワン！体を張って周囲を笑わせてくれた人です。



§ 4. メンバー編

一見、目立たなそうな班ですが、実はその内に秘めた情熱はすごいもの。また、小人(プリティな)が2人いるのが特徴。小人と巨人が共存する班

1ST GROUP



<p>班長</p>  <p>大阪RAC 北村晃司</p>	<p>いつも明るい班長さんの素敵なお所は、まず1つめにシマシマのTシャツを愛用していること、2つめは集合時間によく遅れる、3つめコリアンに間違えられる、4つめは明るい家族計画がまだ始まっていないこと、そして5つめが早く会長をやめたいらしいという、まあ大まかに分けると5つぐらいになるのではないでしょうか。でもその左手のリングがある限り6~10の項目を挙げることができなくて非常に残念である。(紹介者:白井)</p>	<p>得意技 ギャグが死ぬほど面白い 弱点 ギャグがある意味で死ぬほど面白い</p> <p>MVP</p>
<p>副班長</p>  <p>吹田RAC 西口可代</p>	<p>吹田RAC西口3兄弟のお姉さん。責任感が強く、頼まれた仕事はソツなくこなす。いつも笑顔を絶やすず、周りに安心感を与えてくれる。スポーツも好きだそうで、最近テニススクールに通っているらしい。説けば相手してくれるそうだ。海外経験も豊富らしく、いろいろな事を知っているううなので、その点でも頼りになる。(紹介者:北村)</p>	<p>得意技 スタイル抜群、容姿端麗 モデル歩き 弱点 愛想が良すぎて、少し怖い</p> <p>Nice Follow</p>
<p>会計</p>  <p>守口RAC 松尾加奈美</p>	<p>初めて本人に会う前に他の人から「松尾さんは今どきのキャビキャビガールだよ」と聞いていた。おばさんの私は彼女と話が合うのだろうかと大変心配だったのだが…。実は彼女はキャビキャビのかわいい女の子であった。免税店で猛ダッシュで某ブランド品を買っている姿を発見!しかし彼女はただ単にキャビキャビしているだけではなく、芯のあるしっかりした女性でもあったのだ。(紹介者:西口) 早坂好恵に似ている。性格も明るく楽しく、マスコットガールにピッタリだ。(紹介者:北村)</p>	<p>得意技 どこでも寝ること コーヒーを作ること 弱点 お金の計算</p> <p>MVP MVP</p>
<p>記録</p>  <p>大阪住吉RAC 瀧本友紀</p>	<p>1班最年少のゆきちゃん。何とピチピチの女子大生20才!!小柄でついつい守ってあげたくなるような外見とは裏腹、実はしっかり者です!!韓国での彼女は元気いっぱいにスケジュールをこなしていました。それもショッピングとなると目の輝きが違います。パワー全開で歩き回るその姿に、私は自分の年齢を感じざるを得ませんでした。不平不満は一切言わず、大変な記録係のお仕事も黙々とやってくれました。なんていい子なんでしょう。(ゆきちゃんの笑顔で頼みごとをされれば、誰も断ることはできないでしょう)(紹介者:松尾)</p>	<p>得意技 甘え上手 弱点 頼まれると嫌とは言えない性格、歴史、肉</p> <p>Boke Boke</p>

 <p>TIME KEEPER 寝屋川RAC 白井茂康</p>	<p>彼は外見とは違って非常に細かな気遣いのできる人である。またグループをまとめる事についても前面に出ることなくさりげなくサポートできる面を持つている。話題も豊富で初対面の人とでもすぐに打ち溶け合える。以上多面的に見て優れたリーダーシップを持っている。ただし、たばこを吸い過ぎ。</p> <p>(紹介者:吉田)</p>	<p>得意技 おそらくバナナが大好物 (ドテチンに似てるから)</p> <p>弱点 おそらく狭い部屋に閉じこめられるのが大嫌い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; border-radius: 10px; text-align: center;">Nice Follow</div>
 <p>TIME KEEPER 大阪淀川RAC 吉田博工</p>	<p>うさん臭~い風貌の吉田さん(特にあの「ひげ」)。ちょっと前なら、バブル成り金の小金持ちって感じか?いやいや、決して怪しい者ではございません。夏は釣り、冬はスキーなど、アウトドアはオールマイティ!そのうえ、特許をいくつも持っているというアイデアマンなのです。近い将来、特許の使用料だけで食っていけるとか(?)。周囲に流されず、自分の考えをしっかり持って「我が人生」を突き進む吉田さんは、「21世紀に求められる日本人像」の典型ではないでしょうか。もうすぐRAC引退のお歳だけど、ロータリアンと間違わないでね。(紹介者:山本)</p>	<p>得意技 免許取得</p> <p>弱点 吹田RACの某お姉ちゃん</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; border-radius: 10px; text-align: center;">Nice Follow</div>
 <p>大阪平野RAC 山本 浩</p>	<p>昨年は南ゾーン代理、そして今年は地区代表すごい経歴を持っている。一見こわそうだが、実はとてもシャイ。あの鋭い目を見ていると、時々どうしてよいかわからずキヨロキヨロしている。でも最近、地区代表らしくしっかりしてきた。また、軽い(時にはダークかな?)ジョークで笑わせてくれる。まだ謎がありそう…(紹介者:瀧本)</p>	<p>得意技 まわしげり、かかと落とし、鋭い目で人を怖がらせる</p> <p>弱点 こそばがり、女人←特に若い人</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; border-radius: 10px; text-align: center;">MVP</div>

〃班長感想〃

●1日目

結団式で心を一つにして出発できた。機内食を食べていたら、すぐ着いた(気がした)。空港からホテルまでせわしなかった。出発がもう少し早かったら良かったように思う。

●2日目

ビビンバおよびカルビは非常に美味であった。市内観光も、ゆっくりはできなかったが、多く回れてよかったです。現地RACの方に南大门を案内してもらい、一緒に買い物や食事をした。言葉の通じる人がいて、行動は広がったように感じた。

●3日目

奉仕活動が印象的であった。世界中にRC・RACの精神が根づいていると思い、RC・RACの偉大さを再認識した。交流会は盛大で楽しかった。今後もこのメンバーと再会できれば、親密さは2倍、4倍と指数関数的に大きくなるでしょう。

●全体

4日間でRAC内の交流がかなり深められた。具体的には、夜の飲み会が有効であったようだ。泊まりで語り合える貴重な機会を得られ、皆満足そうだった。今後いっそう地区行事が楽しくなるでしょう。

1班の日本に帰つてからの目標!

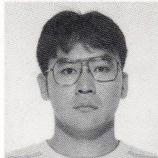
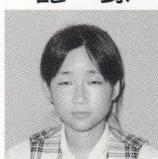
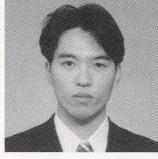
とりあえず、最後の集合写真を撮る

§ 4. メンバー編

明朗活発、協力的



班長 大阪空港RAC 中埜まゆ	<p>異国の地、韓国でもおしとやかに着物を着こなす日本人女性、まゆさん。ジーンズ姿でもおしとやかさが感じられるというのは、私とどこが違うのでしょうか…。親がしっかりしていると、子供は何もしないって言うけど、班長がしっかりしていて、班員は楽しめました。個性あふれるメンバーをしっかりまとめてくれて、頼りになる班長、中埜まゆさんでした。（紹介者：藤原）</p>	得意技 おしとやかさ（私にないからそう思うだけ！？） MVP
大阪住吉RAC 早道雅彦 	<p>早道さんってこんな方。とにもかくにも冷静沈着。ポーカーフェイス。んでもって礼儀正しいんです。たとえば、こっちが片手でお酌しているのに、両手で杯を受けるんです。（韓国マナーにしたがって、この年寄りに敬意を払ってくれていたのか？ そうなのか？）ながら、しとやかな女性のように。でもちょっと不器用かも。上手にウソがつけるタイプじゃありません。といっても信頼できる彼は、やっぱり地区幹事という大役を担っています。（紹介者：中埜）</p>	得意技 e-mailという最新の利器を使い、天性とも言えるまめまめしさで連絡を取る。今回、班長はおんぶにだっこでした。
会計 大阪北RAC 前田真孝	<p>前田さんは、いつも笑顔を絶やさず、非常に明るくさわやかな人です。私たちがどんなに疲れていても、あの白い歯でニコニコ笑顔の前田さんが登場すると、その場がぱッと明るくなり、自然と笑いが生まれて元気な力を与えてくれる、なんとも不思議な力を持った人です。また、カメラの三脚を持ってくるなど、かばんの中身をのぞきたくなるくらい用意周到な所もあり、大変頼りになるお兄さんのような人です。（紹介者：杉村）</p>	得意技 カメラのセッティング
TIME KEEPER 大阪南RAC 杉村和子	<p>彼女は昼間班行動をしていたときはとても大人しかった、と思う。でも人づてに聞いた話では、夜はスパークしていたようである。帰国後に2班で集まったとき（場所は杉村家自営の焼肉屋さん：楽洛亭）、彼女の別な面を見た。エプロン姿がとても似合っていた。こうなると彼女のことを表現するのは難しい。ただこれだけは言える、彼女は多少のことではめげない、心の強い今風の女性である。（紹介者：早道）</p>	得意技 甘え上手 弱点 取っつきにくい雰囲気、ちょっとコワそう（僕だけかも？）

<p>記録</p>  <p>守口 RAC 尾崎公一</p>	<p>目をつぶって彼のことを考えると、まず初めに彼の笑顔が一番に浮かんできます。今回の海外研修で知り合い、オリエンテーション、韓国での班行動、そして2班での打ち上げの時も、彼の笑顔は最高に良かったです。昔からの友達のような気がして、私などはそのつもりで会話していました。それほど彼の人柄が笑顔に出ていると私は自信を持って断言しましょう。お酒が入るとその笑顔は崩れて、もっとすばらしかったですね。（紹介者：前田）</p>	
<p>記録</p>  <p>濱屋川 RAC 神谷久美</p>	<p>いつもチョコチョコしている神谷さん。その素顔はみたまんま。ちょっとおっちょこちょい、でもしつかり者。その甘え上手で人に好かれるキャラクターはきっとかわいいお嫁さんになること請け合い。RACではキノコになったり（！）と、パフォーマンスを十二分に発揮し、地区内随一の小学生ラッカーレーベンとして名を馳せる。あなたのパタパタ動き回る姿に目を和ませてもらいましたよ。</p>	<p>得意技 甘え上手 弱点 早く大人になりた～い (ペム調)</p> 
<p>TIME KEEPER</p>  <p>吹田 RAC 立田哲也</p>	<p>初めて見た時は、するどい眼をしていて、ふざけたことを言ったらおこりそうだった。人を楽しませることが得意。まわりに人が集まってるような存在。施設のお姉さんからもほれられる、韓国女性にも受けるかっこよさ。からいものが好きで、飲んべえ。スケベかも。ふだん着はセンスあるのに、施設へ行った時はジャージにブーツとセンス（？）がヒカル男の子。頭の回転が早く、要領が良い（段取りが良い、テキパキしている）。（紹介者：神谷）</p>	
 <p>大阪淀川 RAC 藤原美和</p>	<p>中ゾーン代理として明朗活発に活動し、また一方で名門神戸女学院でバイオリンを専攻するなど、すごい人を演じる彼女だが、実は自分のソロリサイタルに男一人しか招待しない悪魔である。（紹介者：立田）</p>	<p>得意技 甘え上手 弱点 先物取引</p> 

■ 班長感想 ■

● 1日目

多くの現地RACの方と仲良くなれるよう。隣国の韓国をもっとよく知ることができるよう。班員が仲良くなれるよう。たくさん希望があるけど、一番はやっぱり、皆が無事で帰国できるように。

● 2日目

多少集合時間に遅れてしまい、班行動が完璧でなかった点は、重要な反省事項ですが、カルビの夕食時にソウルRACの金さんとかなり楽しく交流することができて、良かったと思う。明日の交流会もこうありたい。

● 3日目

今日は完璧な班行動をとることができた(やはり地区役員の班行動は無理があったが)。当班は人数も8名と最多で、うち二人が地区役員なのでなかなか忙しく二次会には出席できないのが少し残念。もっともそのおかげで班長の私は個人的ではあるけれどかなり心強い。明日は帰国。無事に奉仕活動を終えることができてよかった。

● 全体

4日間を振り返って思うことは、もっと話をつめれば良かったなということです。少し時間を取らなすぎたように感じる。皆協力的ですぐに目標も決まるので特に問題は生じなかったが、もっと時間を取っていたら、さらに色々な意見が出たようだ。

2班の日本に帰ってからの目標！

現地RACとの文通、写真交換、カルビとビールで乾杯してさらに親交を深める

§ 4. メンバー編

年齢差10才!!そのギャップをも乗り越えるチームワークとギャグパワー!

3RD GROUP



<p>班長</p>  <p>守口RAC 泉 富弓</p>	<p>守口に咲く一輪のボケの花、泉さんなんですが、この人は非常に恐ろしい人である。とにかく一日中ボケまくり、みんなを油断させ自分の空間(ペース)に引きずり込むのである。そうして魂を抜かれた皆もボケ出し、一日中笑って過ごしてしまうのである。ああ、何とも恐ろしや、恐ろしや…… (紹介者: 謙訪)</p>	<p>得意技 ボケボケ魔空空間</p> <p>弱点 何事もなく過ごすこと</p> <p>MVP</p> <p>Nice Follow Boke Boke</p>
<p>副班長</p>  <p>大阪住吉RAC 福山千里</p>	<p>「いやーー、瀧ちゃん、これカワイ~」とか甲高い声で、いつもニコニコキャピキャピの女子大生。私のようなオジさんから見ると、妹どころか娘のような感じです。地区の行事や他クラブにも積極的に参加されていて、今春の「海のライラ」では、でっかい収穫を得た模様。結構ミーハーしていますが、ローターアクトはもちろん、それ以外にも色々な奉仕活動をされているようですよ。本期住吉RACがホストされる、世界RAC DAYでの活躍が楽しみです。(紹介者: 寺井)</p>	<p>得意技 タキちゃん</p> <p>弱点 三日坊主</p> <p>Boke Boke</p>
<p>会計</p>  <p>大阪西南RAC 北川吉博</p>	<p>北川君は初日、金浦空港に着くなり「ここって台湾ですね?」と大ボケ発言。「ここはソウルだよ、台湾は中国に返還されたじゃん」と私が親切に教えてあげたのにもかかわらず、「でも、首都は北京ですよネ」と、大ボケ2連発!これから先心配でしたが、実はその時、彼は飛行機酔いしていたようです…。焼肉してる時、あらためて「アメリカの首都はどこ?」と聞いたら、彼は迷わず自信満々に「ロンドン!!」と教えてくれました(ありがとう)。そんな北川君は、K大に通う1回生。もっと地理を勉強してBigになって下さいね。今回最年少参加で、班のみんなから「ヤングマン」と呼ばれていた北川君でした。(紹介者: 栢本)</p>	<p>得意技 世間一般で笑えないサムハイギヤグでも心の底から笑ってくれるとってもいい子</p> <p>弱点 地理オンチなのか、知識不足なのかわからない…</p> <p>Boke Boke</p>
<p>記録</p>  <p>大阪南RAC 山田徳明</p>	<p>同じ班になった時から「この人の落ち着きって…一体何者?」と思っていたのはきっと私だけではないはず。旅行中もそのスタイルはそのままなのかと思いきや、少しシャイな10代らしさも見れて、山田君の内面と外面のギャップには本当にア然とさせられました。こんな私を一応班長と思っていてくれたかどうかは未だに不明ですが、班全体のムードを一番しっかりと見守っていてくれたのは山田君ではないでしょうか。(もしかして年下なので気を遣っていたのかな?)余談ですが…「山田君って名前全然似合わへん」ってつっこまれていましたね(笑)。(紹介者: 泉)</p>	<p>得意技 人間観察</p> <p>弱点 スキー未経験</p> <p>MVP</p>

<p>記録</p>  <p>寝屋川RAC 諒訪浩一</p>	<p>実は彼は、N16星雲から来た「シュワッチ」の地球での仮の姿なのである。シュワッチはかなり負けず嫌いである。自分より年下でカッコイイY星人(スキー未経験者)に、スキーで戦いを挑んだ。結果は…次回のお楽しみ。シュワッチの戦いはまだまだ続く。ある日ソウルの地下鉄に乗ると、酔っ払ったS星人が現われた! 彼はシュワッチが年下だったので、顔中を引っぱりまわした。シュワッチはくやしがったが、年下なので何もできなかつた。駅に着くまでひたすらガマンした。結果…戦いはなかった。偉いぞシュワッチ、地下鉄と日韓の平和をよく守った! 行け、シュワッチ! 今日も負けるなシュワッチ! 今日も地球の平和を守るんだ! (紹介者:福山)</p>	<p>得意技 正体不明なところ 変なポーズ</p> <p>弱点 日に弱い、お酒を飲くしゃべる</p> 
<p>TIME KEEPER</p>  <p>吹田RAC 柏本のぞみ</p>	<p>RACに所属しているようだが、詳しいことはわからない。ただ言えることといえば、スキを見せない態勢と、人のボケに対する必要最低限の的確なツッコミに長けている事であろう。常に冷静かつ適切に諸事をこなし、人のミスやボケを絶対に見逃さないので。つまりは、班の風紀委員のような存在であり、かつ母なる海を思い起こさせる人物なのだ。そのおおらかさが柏本さんをして柏本さんたる人物にしているのだ。一緒にいてこの人の存在が必要不可欠だと思った。これからもいろいろな所でいろいろな人にそんな印象を与えていくのだろう。(紹介者:山田)</p>	<p>得意技 的確なツッコミ、スキなしシフト、スキー</p> <p>弱点 スキがないので弱点もない</p> 
 <p>守口RAC 寺井太郎</p>	<p>何事にもよく気がつき、人をいたわり、リーダーシップを發揮され、班にはなくてはならなかった太郎さん。そして、班の皆(僕以外)を放心状態にいざなうそのギャグ。そのセンスはかなりいいものを持っているのだが、なぜかヒットしない。不思議である。あとは辛いもの好き。韓国料理をあまりにも顔を上気させ、タコみたいに真っ赤にさせながら食べていたため、皆に「早死にしませ」と言われていた。長生きして、太郎さんのその素晴らしい人間性を皆さんに触れさせてあげて下さいね。(紹介者:北川)</p>	<p>得意技 その場を修羅場にさせるギャグ</p> <p>弱点 天敵泉さん</p> 

班長感想

● 1日目

時間厳守は守っていましたが、到着してからホテルまでの道のりはまとまりがありあまり無かったように思います。現地では班行動が基本というのを、もう少し何度も言っておくべきだったと反省しました。

● 2日目

自由行動は南大門市場まで地下鉄に乗っていくことにしましたが、途中切符の買い方に戸惑ったり、酔っ払いにからまれたりと、ハプニング続出でした。1人や2人でいれば大事件になっていたかもしませんが、みんなでまとめて行動していたので、心強かったのだと思います。そのおかげでいい土産話ができたのでは?

● 3日目

自由行動時の行き先や時間配分は、全員で決めました。買い物をしたり、戦争記念館を訪ねて、歴史の重みを感じたりと変化に富んでいて、とても充実していました。また、交流会では私達3班が軸となり「上を向いて歩こう」を歌いました。現地RACの人たちには日本語で歌ってもらったのですが、思ったより歌い易かったようで安心しました。

● 全体

今回初めて海外研修に参加したのですが、3泊4日とは思えないほど有意義な旅行でした。現地での社会奉仕活動はもちろんのことですが、現地RACの方々との交流会は、3班全員にとっても私にとって最も印象深いものになったと思います。言葉の力は確かにありました、「理解したい」という気持ちをお互いが持つことの大切さを学べたのではないかでしょうか。最後になりましたが、3班の皆さんには本当にお世話になりました。一番手間のかかる私が班長でいられたのは、このメンバーだったからこそだと今更ながらに感じています。毎回点呼を手伝ってくれた福山ちゃん。時間管理は柏本ちゃん。いつも気配り上手の山田君と北川君。的を得たアドバイスをくれる諒訪っち。そして大ピンチのときは太郎さん。楽しく海外研修を過ごすことができたのは、現地RACの方々と、このメンバーのおかげだと心より感謝しています。ありがとうございました。

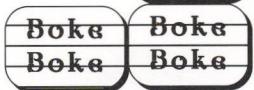
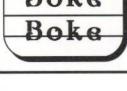
3班の日本に帰つてからの目標!

友人を1人以上連れて、もう一度海外研修に参加する!

比較的のんびりした、おとなしいグループ!?

4TH GROUP



<p>班長</p>  <p>寝屋川RAC 金子武士</p>	<p>誰にでも、優しい笑顔で対応する、物腰柔らか、かつ極めて温厚な好青年。その反面、うまくコミュニケーションがとれないかもしれないと予測される相手でも、ガンガン先制攻撃を仕掛ける積極性も兼ね備えている。（紹介者：武田）</p>	<p>得意技 "What kind of sports do you like?" (とりあえず尋ねる)花火専用の最高級ジッポライター</p> <p>弱点 班長なのでなし</p> 
<p>副班長</p>  <p>守口RAC 三宅洋行</p>	<p>いつも笑顔が似合う三宅さん。まるでDCカードの宣伝に出て来そうなくらい、いいスマイルをしている。また行動力も多大にあり、陰ながら班長に代わりみんなを導いていってくれた。三日目日曜の交流会の後、三宅さんはソウルRACの方達の二次会に行く予定だったが、心配して南大门へ買い物に行く班について来てくれた。母親思いの三宅さんは、お母さんにセーターを一着買いました。三宅さんは、結構好奇心旺盛で、熱心に店を見て回っていました。また買い物上手で、買う物に対して妥協を許しません(見る目が光る)。けど頼り甲斐のある人です。（紹介者：金子）</p>	<p>得意技 アルカイックスマイル</p> <p>弱点 かわいいぬいぐるみ</p> 
<p>会計</p>  <p>大阪北RAC 三島悦子</p>	<p>僕の知る限りの三島悦子さんは、宝塚市在住の2?才(名簿参照)の女性で、某予備校で勤務されています。一見すると、おとなしくて清楚な感じのする方ですが(それはそれでうなんですが)、すごくactive & aggressiveな面をお持ちです。4班の精神的な柱といえるでしょう。あまり派手に目立つことはありませんが、密かに我が道を行くタイプなのでしょうか?そんな三島さんをもっと知りたい方は、一度、大阪北RACにメーキャップに行ってみては?でも、そこで目にするのが等身大の彼女かどうかは誰にもわかりません。（紹介者：家門）</p>	<p>得意技 写真には、必ずポリシーを持って写る</p> <p>弱点 ポリシーの余り、周りの人を笑わせる(引かせる?)姿で写真に写ってしまう</p> 
<p>記録</p>  <p>大阪西南RAC 武田義子</p>	<p>見かけはおとなしそうに見える。しかし、話をしてみるとかなり"笑い"にはこだわっているということがわかる。常にネタを探しているのだ。得意技は"ボケ"だろう。今回の研修では「うどん」のことを「うどし」と書かれたメニューを見て大ウケし、写真まで撮る凝りようだった。また、失敗談として、ソウル市内でテレビカメラに囮まれた人を見かけ、何をわからないままとりあえず握手をし、写真も撮ってもらっていた。実はその人は次期大統領候補ということを聞き、とても喜んでいたのですが、日本に帰ってから研修後の例会での発表で、スライドを見たロータリアンの方に、「この人は違うよ」と言っていた。残念ながら本人は欠席で、まだ信じていることだろう。（紹介者：三島）</p>	<p>得意技 ボケ</p> <p>弱点 シャッターチャンス</p> 

記録  大阪RAC 家門将義	<p>家門さんは、男前のそのマスクで人々をだましている。第1回目のオリエンテーションで初顔合わせをする前から一度メールをやり取りしたことがあったので、その時の想像通り、第一印象はクールで知的な男性であった。しかし、4日間共に韓国へ行ってみると、実は彼も結構ひょうきんな大阪のにーちゃんであることがわかつてしまった。しかし部屋に若い女の子がいると、服を着替えることができないというかわいらしい一面も持っているらしい。また、同じく男前、しかし残念ながら妻帯者である同じ大阪RACの北村さんと二人きりで怪しげな雰囲気を醸し出していたのを私は知っている。ああもったいない。(何かって? それは言えません) (紹介者: 山野)</p>	得意技 神出鬼没 弱点 大阪RACの北村晃司さん
TIME KEEPER  吹田RAC・OB 金丙坤	<p>普段はヘラヘラしてとぼけた事ばかり言っていますが、実はとても頭が良くまじめで、そしてとても周りに気を遣っています。海外研修で金さんは周りの対応に忙しく、とても疲れていたはずなのに、夜遅く私を観光客などが行かない屋台に連れて行ってくれて、韓国の名物料理を食べさせてくれました(生きてるタコを食べたよ!)。そして何といっても二ヵ国語を話せることがすごいです。ソウルのRACとの交流会での通訳は素晴らしかったです。金さん、いろいろとお世話になりました。今回の旅行の一番の功労者、金さんに拍手! (紹介者: 三宅)</p>	得意技 歯の浮くせりふ 弱点 女の涙
 吹田RAC 山野優子	<p>同じクラブだったのでよく知っているつもりだったが、いざ紹介しようと思ったら、何もわからないのに気づいてしまった。確か、山野さんの英語とテニスはすごいようであるというのは知っていたが、今回の海外研修での地区役人としての仕事ぶりや進行力は別人のようであったと思う。いつも大学新人生のままであったと思えば、もう就職も内定をもらっている4回生になっていたし、不思議な感じの方である。また、今回の海外研修を準備する間に、何回か山野さんと連絡を取りながら3650地区との結果を報告したが、その度に山野さんの素早い対応や私の指示は、さすが役人さんであることを感じた。海外研修の間はお疲れ様でした。また、半年間の地区行事やクラブの活動に役人としての積極的な山野さんの活動を期待します。 (紹介者: 金)</p>	得意技 行政改革 弱点 山野さんって少し神経質かな...

〃班長感想〃

●1日目

飛行機はとても肩が凝った。韓国到着後、すぐにバスに乗ってホテルに向かったので、トイレにも行けなかった。もう少し余裕が欲しかった。

●2日目

今日は一言。「夕食で食べたカルビは、今まで食べて來た中で一番うまかった」。皆さん今日も一日ご苦労様でした。

●3日目

まだまだ時間厳守ができていなかった。でも施設訪問や交流会では有意義な時間が過ごせたし、夜の南大门での買い物はとても楽しかった。

●全体

全体として行程がきつくて、自由に行動できる余裕があまり無かった。班行動か各個人による行動かについては、うちの班に限っては2つに分かれてしまった。班行動については、あらかじめきっちり規定しておいたほうが良かった。その上で、昼や決まった時間においては班行動をして、他の羽を伸ばしたい時間、特に夜なんかは各個人の自由にすれば良かったと思う。しかし各個人がどこに出かけるといったことは、班長などが責任を持って知っておく必要がある。みんなあまり守れなかった点は、時間厳守だった。各個人は遅れるという1つの仕事で済むが、ガイドさんによったら遅れた人の人数分だけ仕事が増える。皆、その事を自覚して人に迷惑をかけるべきじゃなかった。しかし、みんな元気で楽しく帰国できたことをみなさん感謝します。最後に、もっと英語がしゃべれれば、もっと韓国人の人たちと仲良くなれたと思う。また英語が世界言語だと痛感しました。これからは少しづつでも勉強していきたいと思う。

4班の日本に帰つてからの目標!

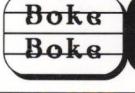
もっとコミュニケーションをとれるよう、各自語学力をブラッシュアップしたい

§ 4. メンバー編

個性あふれるメンバーの集まり。よくもこれだけ集まつたものだナ～

5TH GROUP



<p>班長  大阪空港RAC 下平亜香里</p>	<p>一見おとなしそうなお嬢さん。が、アルコールに抵抗がなく、したたかである。今回は、バラバラな性格の集まりをソツなくまとめる隊長として活躍。 (紹介者:富永)</p>	<p>得意技 フルーツをサバイバルナイフで切ること 弱点 KOREAN SMILE</p>
<p>副班長  吹田RAC 井上大輔</p>	<p>知る人ぞ知る私の上司。何事もテキパキとこなしで、難問・珍問も即答できるみんなの頼れるお兄様。海外研修の参加も今回がラストという、RAC人生残りわずかな大輔さんですが、ちと最近オヤジくさい発言もちらほら耳にする!?しかし韓国には何度も足を運んでいると言う大輔さんの案内で、イテウォンに向かうタクシーでは、母国語しか話すことのできない運転手を相手に、大奮闘してくれました。そのおかげで楽しかったです。大輔さんどうもありがとうございました！(紹介者:下平)</p>	<p>得意技 やはりゴルフでしょう 弱点 口が裂けてもおそれ多くて言えません</p>
<p>TIME KEEPER  大阪淀川RAC 小林 彩</p>	<p>あやさんこと小林彩さんは誰もが認めるお嬢様。「スラーッとした長い脚にブーツ、黒いモヘアのセーター」という姿が印象的でした。また、バイオリニストという肩書きを持つ彼女ですが、とてもフレンドリーな優しいお姉様でした。自由行動の時、彼女は良い買い物ができるらしく、すごく満足そうに話す笑顔がかわいかったです。また、気がつくとどこかに行っていて「あやさん」と班の人たちと探しているといつもポーズをして、最適の撮影アングルを見逃すことなく写真に納めていました。そんなマイペースで飾らない性格のあやさんの行動は私たち班員を笑わせてくれました。(紹介者:龍野)</p>	<p> MVP</p>
<p>記録  守口RAC 富永大介</p>	<p>体の大きい富永さんであるが、結構おとなしい。しかし、内に秘めるものは侮ることはできない。富永さんはアツイ！どんなことにも積極的に参加し、ちょっと違った発想で皆を引っ張るその姿はローターアクターの鏡だ！海外研修中も他の班員とは違った視点で考えて行動し、ひと味もふた味も違った雰囲気を醸し出していた。また、彼は記録係であったため、班の中心として大車輪の活躍であった。そんな彼にもお酒を飲むと一部壊れてくるところがあり、そのときはさらに一枚も二枚も上の存在となり、班のメンバーの手の届かないところに行ってしまうようだ。早速修理に出すことにしてやう。</p>	<p>得意技 英語 弱点 故障</p>

 <p>寝屋川RAC 内山みづほ</p>	<p>5班のしっかり者と言えば、みずほちゃんでしょう。見た目には、いつもニコニコとおっとりしているとしか見えないみずほちゃんは、実は、とてもしっかり者なのです。私たちの班がイテウォンのNIKE SHOPの20%OFFセールでみんなのサイフが大開放している時にも、子供用のスニーカーをプレゼント用に一足買われただけで、見事に20%OFFセールという誘惑を撃退しておられました。それまではサイフのヒモをあまりほどかなかつた龍野さんでさえNIKE SHOPの誘惑の前ではサイフが大開放していたというのに……。「みずほちゃん、あんたはえらい！」（紹介者：井上）</p>	<p>得意技 必殺サイフのひもスーパー・ホールド 弱点 特に見当たらない、今後も注意深く観察する必要がありそうだ MVP Nice Follow Boke Boke</p>
 <p>大阪北RAC 龍野真友子</p>	<p>第1印象は色白でほんわかしたおとなしそうなお嬢さん。でも、その内側にはすごい特徴が秘められているんです。まずその才媛ぶりには舌を巻くばかり、そしてその頭脳を生かした行動力がものすごい。買い物に行く時のタクシーで遠回りをしていて時間がかかっているんじゃないかと運転手に食い下がる姿は普段の龍野さんからは想像なんてできません。でもお酒を飲むと、今度はしゃべりまくりの柔らか龍野さんに早変わり。楽しい4日間をありがとうございました、龍野さん！！</p>	<p>得意技 必殺！衝動買い 弱点 お酒が入ると家族ネタを暴露すること Nice Follow Nice Follow</p>
 <p>東大阪東RAC 石田 将</p>	<p>石田くんはまじめな人らしいです。「らしいです」というのは、実は私は石田くんのことをあまり知らないからです。同じ班で一緒に行動することも多かったはずなのに…。おかしいなあ…。でもきっと石田くんはまじめな人なんだ、信じています(ちなみにロータリアンの石田さん(お父様)は、めちゃめちゃまじめな方であることを、私はすでに知っています)。ごめんね。今度一度ゆっくりお話ししましょう。石田くん。…………つけたし、でも忘れてはいけない。石田くんは今、関学の学生という忙しい身でありながら、地区役員(南ゾーン代理)という大役をサラリとやってのけるスゴイ人です。やっぱりまじめやん！石田くん！（紹介者：小林）</p>	<p>Nice Follow</p>

〃班長感想〃

●1日目

班としての行動は特別なかったんですが、集合・点呼・班長会議などでみんな個人の動きを常に把握しておかなければいけないと実感させられました。

●2日目

班長会議の後、班のみんなにその内容を伝える時間というものがない点にとても困りました。

●3日目

午前中の自由行動でかなりみんなが打ち解けた様に思った。「今日の行程で悪かった点」がないことでわかる通り、みんなとても仲良くなれたり、1日がとても充実していました。午後の3650地区との交流会は1対1という形で話ができるのは良かったと思う。

●全体

はじめのうちは班行動も今一つまとまりず不安だったけど、3日目の自由行動で意気投合。日本人ってやっぱりナイキ・プライスダウンの文字に弱いのネと思いました。解散する時までにはみんなしっかりと打ち解ける事ができて大変良かったです。

5班の日本に帰ってからの目標！

親しくなった韓国のロータークリークに必ず手紙を書く

§ 5. データ編

5-1. 各クラブの取り組み

地区の国際奉仕活動である海外研修の参加者が、海外研修の前、または後に、例会などにおいてクラブの会員に活動を紹介したり、行き先に対する知識を深めたりと、いろいろな企画を立て、取り組まれているクラブがあります。今後海外研修に参加する方の参考のために取り上げたいと思います。

●守口ローターアクトクラブ

守口ローターアクトクラブでは、みんなの住所・氏名などが英語（ローマ字）で記入されたカードにプリクラを張り付け、参加者に現地のアクターに渡してもらい、文通を行うことを企画しました。海外研修の時だけでなく、後にも少しでも大きな交流がはかれたことが成果であったと思います。

●吹田ローターアクトクラブ

吹田ローターアクトクラブは、事前に韓国のアクターのみなさんに質問したいことを考えて翻訳して、日本語版と英語版の両方のアンケートを作成し、日本からの参加者（2660アクター）と、韓国のアクターに答えてもらいました。二国の若い人たちの考えていることの違いはすさまじく、例えば、「自分が誇りに思うもの」という質問では、韓国側が「韓国の歴史」という答えが一番多かったのに対し、日本側は「日本食」であるなど、韓国の若い人たちの、物事を真剣に考える姿勢が目に付き、感心させられるなど、多くのことを見えるようにさせてくれるアンケートの結果となりました。

●大阪西南ローターアクトクラブ

大阪西南ローターアクトクラブでは、参加者が実際に韓国で活動している時から、帰国後の例会で活動を発表することを意識して写真を撮ったり、内容を考えたりしました。

実際に帰国後の例会では写真を元にスライドを作成して、スライドの進行に合わせながら、そのときそのときに感じたことをみんなに理解してもらうように努めてくれましたので、参加していない会員も、日本と韓国のことや、また海外研修の雰囲気を感じることができました。

5 - 2. 会計報告

収入の部		支出の部	
参加者共益金(@30,000)	1,170,000	会場費（オリエンテーション）	23,797
		事務用品費	(23,345)
		名札、ステッカー、名簿作成費	10,923
		カメラ、現像費	12,422
		旅費（通訳金様）	41,900
		食事費	(176,560)
		3650地区との交流会費	114,864
		飲食代追徴金	61,696
		交際費（土産代）	(33,793)
		3650地区RAC	5,625
		3650地区RC	16,800
		訪問先施設	3,135
		ハストガバナー松本様	8,233
		解団式	189,223
		通信費	11,026
		雑費（振込手数料等）	3,630
		報告書作成費	(432,726)
		製版・印刷・製本費	420,000
		事務費（封筒・郵送費等）	12,726
		参加者返金 (@6,000)	234,000
合計	1,170,000	合計	1,170,000

1997-’98年度 国際ロータリー第2660地区ローターアクト海外研修報告書

近くて近くなった国、韓国

FELLOWSHIP WITH FOREIGN FRIENDS THROUGH INTERNATIONAL SERVICE

● Chief Editor
石田 将

● Planning&Edit
寺井太郎

● Photo Editor
藤原美和

● Accounts&Write
山野優子

● Write
山本 浩

早道雅彦

内山みづほ

海外研修全参加者

● Special Thanks to
金 丙坤 (吹田 RAC OB)

林 幸一 (トッパントラベルサービス)

発行責任者 **山本 浩** (地区ローターアクト代表)
編集責任者 **石田 将** (大阪南ゾーン代理)

発 行 1999年 10月 31日
制 作 国際ロータリー第2660地区ローターアクト役員会

校正には万全を期したつもりですが、万一誤字・脱字の際にはローターアクトの友愛精神によりご容赦下さい。

Printed in Japan

Fill Your Hearts

～奉仕の心を広げよう～



他国の人と理解し合うのは難しい。
と、思い込んでいいでしょうか。
ローターアクト海外研修は、そのよう
な考えが、全くの「思い込み」に過ぎ
ないことを 教えてくれました。
歴史の溝を埋め、言葉の壁を乗り越え
て、私たちは、心を一つにすることが
できました。
今、海外研修を終えた私たちが、心の
底から言えること · · · ·
「近くで近くなった国 韓国」